

1	<p>ユメちゃんは、おうちで 考えています。 「きょうの おやつ、 どっちに しようかな。 りんごかな。バナナかな。 うーん、うーん。りょうほう 食べたいなー。」 お母さん「どっちかよ。」</p>	
2-3	<p>ユメちゃん「きょうは バナナに き、め、た！」 お母さん「お母さんは りんご！」 ユメちゃんは どうして バナナを えらんだの？」 ユメちゃん「だって、きょうは 黄色い ふくを きてるから、 バナナを 食べたら おにあいでしょ？ それに、バナナの ほうが 長いから、 ずーっと 食べて いられるもん。」</p> <p>ユメちゃん「えらぶのって だーいすき。 だって、まいにち バナナ ばっかりだったら あきちゃうもんね。」 お父さん「それじゃあ、いまから おでかけするけど、 こうえんか スーパーマーケット、どっちが いい？」 ユメちゃん「スーパーマーケット！ だって、きょうは カレーライスを つくるんでしょう？」 お父さん「ふふふ。ユメちゃんは ゆうはんの ことも かんがえて えらんでくれたんだね。ありがとう。」</p>	<p>自分の気分で選ぶ 選ぶことは楽しい 他者のことを考えて選ぶ</p> <p>※セリフはもっと短くします</p>
4-5	<p>ユメちゃんは スーパーマーケットで 大すきな あめを 買ってもらって、ルン ルン ルン。 「スーパーマーケットを えらんで よかった〜。」</p> <p>帰り道。道ばたに 立って、 大きな 声で 話している 人が いました。 ユメちゃんに てを ふっています。 車の 上から 話している 人も てを ふっています。</p> <p>まもり・もりの「公園の うらの 森は、むかしから たいせつに してきた ばしょです。 ぜったいに なくしては いけません。」 たてたい・びるた「あの森は くらいから きけんです。 なくして ブールorビル（仮）を つくりましょう。」</p> <p>ユメちゃん「お母さん、あの人たち、何を 話しているの？」 お母さん「こんど 『せんきょ』が あるから、話しているの。 森は くらくて 行かないから、 あっても なくても どっちでも いいかな。」 お父さん「どうして 森が 大切に されているのか お父さんも しらないから、えらべないなあ。」 ユメちゃん「ふーん。お父さんにも わからないんだ。 じゃあ、あたしも わかんないね。」</p>	<p>※主張の内容はご相談。 森の話題は伏線として使いたい</p> <p>大人も子どもも無関心</p>
6-7	<p>つぎの日。ユメちゃんは、りょうくんと けんくんと 公園で 考えています。</p> <p>りょうくん「なんだか さいきん 車の 声が うるさいよね。」 ひょうきんものの けんくんが まねをしました。 「きよき いっぴょうを おねがいします！ 公園の うらの 森を まもりましょう！」 ユメちゃん「うふふ にてる！」</p> <p>けんくん「なあ、オレたち、森に 行ってみないか？」 りょうくん「え、やだよ。くらくて こわいんでしょ」 ユメちゃん「そういえば お父さんも 森の ことを 知らないって 言ってた。たんけんしてみようよ。」</p> <p>ユメちゃんたちは、森に 行ってみる ことに しました。</p>	

8-9	<p>ユメちゃんたちは 森の 中で 考えています。 ふしぎな あな（どうくつ）を 見つけたのです。 あなの おくから、なんだか 声が 聞こえてきます。</p> <p>「わたしたち ようかいは、人間と なかよくして、 いっしょに 楽しく くらすべいです！」 「いいいや、人間は わたしたちに つめたい。 かれらと なかよくは できないのです！」</p> <p>ユメちゃん「ひよっと して、このあなの おくに ようかいが いるのかな？」 りょうくん「やだよ！ ぼく いかないよ、 これ、ぜったい 帰ってこれなくなるよ？」 けんくん「ほんとに ようかいが いるって 思ってるのか？ 『なんかよーかい？』なんて でてくるわけないだろ」</p> <p>けんくんが ようかいの まねを した そのとき、 つよい 風が ふいたかと おもうと、 あなは そうじきみたいに 3にんを あっというまに すいこんでしまいました。 「うわっ！！」</p>	※この主張も片方だけで よいかもしれません。 ご意見いただきたいです。
10-11	<p>気づいたら、ユメちゃんたちは 広場に いました。 そこには、えほんの なかでしか 見た ことが ないような ようかいたちが いっぱい。 ユメちゃん「ほんとに ようかいの せかいに きちゃったんだ！」</p> <p>ようかいたちは、かんばんの 前に 集まって、 なにやら しんけんに 話し合っているようです。 りょうくん「きづかれないように にげよう…」</p> <p>けんくんが ふりかえったとき、ひとりの ようかいに ぶつかってしまいました。 けんくん「あ〜 ごめんなさい！！」 う〜どん「いてて、きみたち ひょっとして にんげん？ ようかいの せかいに <b>なんかよ〜かい？</b>」 ユメちゃん「ほんとに 『<b>なんかよ〜かい</b>』って ううんだ…」 ユメちゃんは ちょっと たのしい きもちに なりました。</p> <p>ユメちゃん「あなたは だあれ？ ようかいさんたち、なにを 見ているの？」 う〜どん「わたしは う〜どん。あ、あれな。 きょうは 1年に 1回の ようかい大せんきょやねん。 ようかいの 村を おさめる 村長さんを えらぶ 日やな。 ここに 写真あるのが、村長さんの こうほ 4人や。 ちょっと こっち きて〜」</p>	
12-13	<p>ユメちゃんたちは ようかいたちを かきわけながら 村を すすんでいきました。 そこには、大きな 声で 話している ようかいが いました。 けんくん「あ、さっき きこえてきた 声だ！」 ユメちゃん「なんか、こないだ 買ったものの 帰りに 見たのに にてる…。」</p> <p>そばごん「<b>にんげんは やさしいソバ。おとしものを したときに、とどけに きれくれた ことが あるソバ。もっと にんげんと なかよくしましょソバ〜！</b>」 ラーモン「<b>わたしは にんげんに こわいって いわれた ことが あるメン。 にんげんは みかたじゃないメン。 もう にんげんの せかいと つながるのは やめーんだメーン！</b>」</p> <p>う〜どん「わたしは にんげんと なかよくしたいんやけど、 いま、ラーモンに さんせいする 人が 多くて ビンチなんや。 だから きみたちにも てつだってほしいんや。 きみたち 3人が 『とうひょう』してくれば、 そばごんが 『とうせん』するかも しれへん。」 ユメちゃん「とうひょう？ とうせん？ よく わからないけど、 きょうりよくしたら 元の せかいに 帰してくれる？」 う〜どん「やくそくするわ！ この『とうひょうシール』を あげるから、 えらんで、ひがくれるまでに あのいたに はって ほしいんや。 ほな よろしくな〜。」</p>	

14-15	<p>3 には う〜どんに おしえてもらった おだんごやさんで かんがえています。</p> <p>りょうくん「ぼく いかないよ。  ようかいの せかいの こと わからないし。  ぼくなんかが さんかしないほうが いいと おもうんだ。」</p> <p>けんくん「ラーモンが こわいから (or ようかいらしくてカッコいいから)、  ラーモンに はっちゃおうかな」</p> <p>ユメちゃん「なんでよ。う〜どんに きょうりょくして そばゴンに はろうよ。  元の 世界に 帰れるかもしれないだよ？  でも、こんなに たくさん ようかいが いるんだから、  あたしたちが はったって いみないのかも…。」</p>	<p>棄権する  適当に選ぶ</p>
16-17	<p>ゆうがたに なりました。ようかい大せんきょで、村は 大もりあがり。  なやんだ 3 には けっきょく、シールを はりに いきませんでした。</p> <p>せんきょは 大せっせん。  多くの シールを 集めて えらばれたのは、わずか 2 シールの 差で ラーモンでした。  ラーモン「えらんでくれて ありがとうメーン。  われわれ ようかいは、にんげんと なかよくする ひつようないメーン。  人間界と つながる あなは、ふさいでしまおうメーン！」</p> <p>う〜どん「たいへんや！ ラーモンが とうせんしてもうた。  あなが ふさがれるかもしれん。  もう きみたちは 帰れなくなる…。」</p> <p>けんくん「なんだって！」</p> <p>りょうくん「ぼくたち 帰れなくなるの!？」</p> <p>ユメちゃん「3 人で シールを はりに いけば よかった… ぐすん」</p> <p>ユメちゃんたちは、どうしていいか わかりません。</p>	<p>参加せずに後悔  落選した側も経過観察&amp;対話を続ける</p>
18-19	<p>そのとき、村中に 大きな 音で ほうそうが 流れました。  「ピンポンパンピよ〜ん こちら ようかいほうそう ようかいほうそう。  せんきょの シールの 数を かぞえまちがえていました。  そばごんさん、ラーモンさん、  さんメーン よんメーン ごメーンなさい。  とうひょうの やりなおしを しようかい。」</p> <p>う〜どん「なんだって! とうひょうの やりなおし! ?  こんな たいせつな ほうそうで おもろない ダジャレを いうやつは ダレジャ」</p> <p>「よかった〜」  りょうくんと けんくんは ひざの力が ぬけて くたつ。  ユメちゃんは ダジャレに おおわらいです。</p> <p>う〜どん「たすかったわ〜。さあ、あんたら、こんどは ちゃんと とうひょうせえよ。  『せんきょ』は、この世界を よくする チャンスや。  いくと いかないとで 世界は 変わってしまう。  選べるって しあわせな ことなんや。  ぜったいに そのチャンスを 手ばなしては あかんで!」</p> <p>3 人「はいっ!」</p>	
20-21	<p>ユメちゃんたちは ようかいたちが あつまる ひろばに  シールを はりに むかいました。</p> <p>ようかいたちは じっと そのようすを みています。  ユメちゃんは どき どき どきん。  「このシール 1 まいで、にんげんと ようかいが なかよくなれるか どうかか  きまるかも しれないんだ…。」</p> <p>ユメちゃんは そばごんのほうに シールを はりました。</p> <p>りょうくん、けんくんは、「ひえ〜」と いって  きょろきょろ まわりを みながら、  いっば いっば まえに すすんで、シールを はりました。</p>	<p>投票することで、意思を表明できる。  決まったことに協力する。</p>

	<p>いよいよ けっかはっぴょうです。 こんどは 3びょうの さで、そばゴンが とうせんしました。</p> <p>せんきょで まけた ライバルの ラーモンも はくしゅを してくれます。 ラーモン「きみたちみたいに ようかいと なかよくしたいと おもってくれる にんげんが いる ことが わかって よかったメーン。 これからは わたしも にんげんと なかよくしてみようかメーン。」 ユメちゃん「あたしたちも ようかいさんたちの ことを こわいなんて おもわないよ！ ねー、けんくん、りょうくん」 けん&amp;りょう「う、うん…。」 う〜どん「3にんぐみも、ラーモンも みんな すてきやな。ありがとう！ これからも みんなで たすけあっていこうな。よろしく〜 ほな、もとのせかいにかえりんご〜」</p> <p>そういうと、う〜どんは、3にんの おしりを、ちから いっぱい けりとばしました。 「うわ〜！！」 ユメちゃん「う〜どんは りんごが すきなね〜〜〜」</p>	
22-23		決まったことに協力する。
	<p>ふと気づくと、ユメちゃんたち 3人は、いつもの こうえんに いました。 まだ ゆうがたのようです。</p> <p>りょうくん「ああ よかった〜。もどれたんだ」 ユメちゃん「こわかった。でも、おもしろくて やさしい ようかいが いる ことが わかって よかった。」 けんくん「おれたち ちゃんと えらぶ ことに さんかしなきゃ いけなかったんだな。」</p> <p>そのとき 大きな 音で ほうそうが ながれました。 「日曜日は、●●まちの 町長さんを きめる、『せんきょ』の 日です。 かならず とうひょうしましょう」 3人「たいへんだ！ あした 『せんきょ』だって！」</p>	
24-25		話を聞いたことによる気づきも 少し入れる
	<p>ユメちゃん「ただいま〜」 お父さん「おかえり」 ユメちゃん「お父さん、お母さん、あしたの 『せんきょ』、ぜったいに いってね！ ちゃんと 考えて 『とうひょう』しないと、すっごい こわい ことに なっちゃうよ」 お母さん「え、きゅうに どうしたの？ なにか あったの？」 ユメちゃん「いい 世界に する ために、ちゃんと えらんで、『とうひょう』 するんだよ！」</p> <p>そのころ、りょうくんとけんくんは… りょうくん「パパ、ママ、ちゃんと えらんでね！！ ちゃんと こうほの 人の 話を 聞くんだよ！」 けんくん「とうさん、かあさん、じいちゃん、ばあちゃん、 知らんぷりしちゃだめだよ！」</p> <p>3人とも、いっしょうけんめい 話しています。 3人に なにか あったでしょうね。 ふふふ。それは、おとなには 言えない、3人だけの ひみつです。</p>	
26-27		
	<p>日曜日。 ユメちゃんは、お父さん、お母さんと いっしょに、 『せんきょ』に 行く ことに しました。</p> <p>ユメちゃん「ねえねえ、お父さん、お母さん。 人間の 世界の 『せんきょ』って、どんなのかなあ？</p> <p>お父さん、お母さん「えっ？」</p> <p>ユメちゃんは 「けいじばん」の まえに たちどまると こうほの 人を じっと みています。 お父さんと お母さんは ふしぎそうに たずねました。 「ユメちゃん、だれか いいひとが いるの？」 ユメちゃん「うん、あたし えらべるよ！」</p>	
28-29		
	<p>ユメちゃんだけには みえていたのです。 ようかいたちは もりを たいせつに してくれる ひと(まもり・もりの候補)を ゆびさして おうえんしていました。 「お父さん、お母さん、ようかいさんと なかよく できる 人を えらんでね！」</p> <p>おしまい</p>	<p>p28-29の掲示板のところに ようかいたちがやってきて こうほを指差している。</p> <p>ようかいは半透明の表現で、 ユメちゃんには見えている。</p>
30-31		
32	しんきゅうテスト	